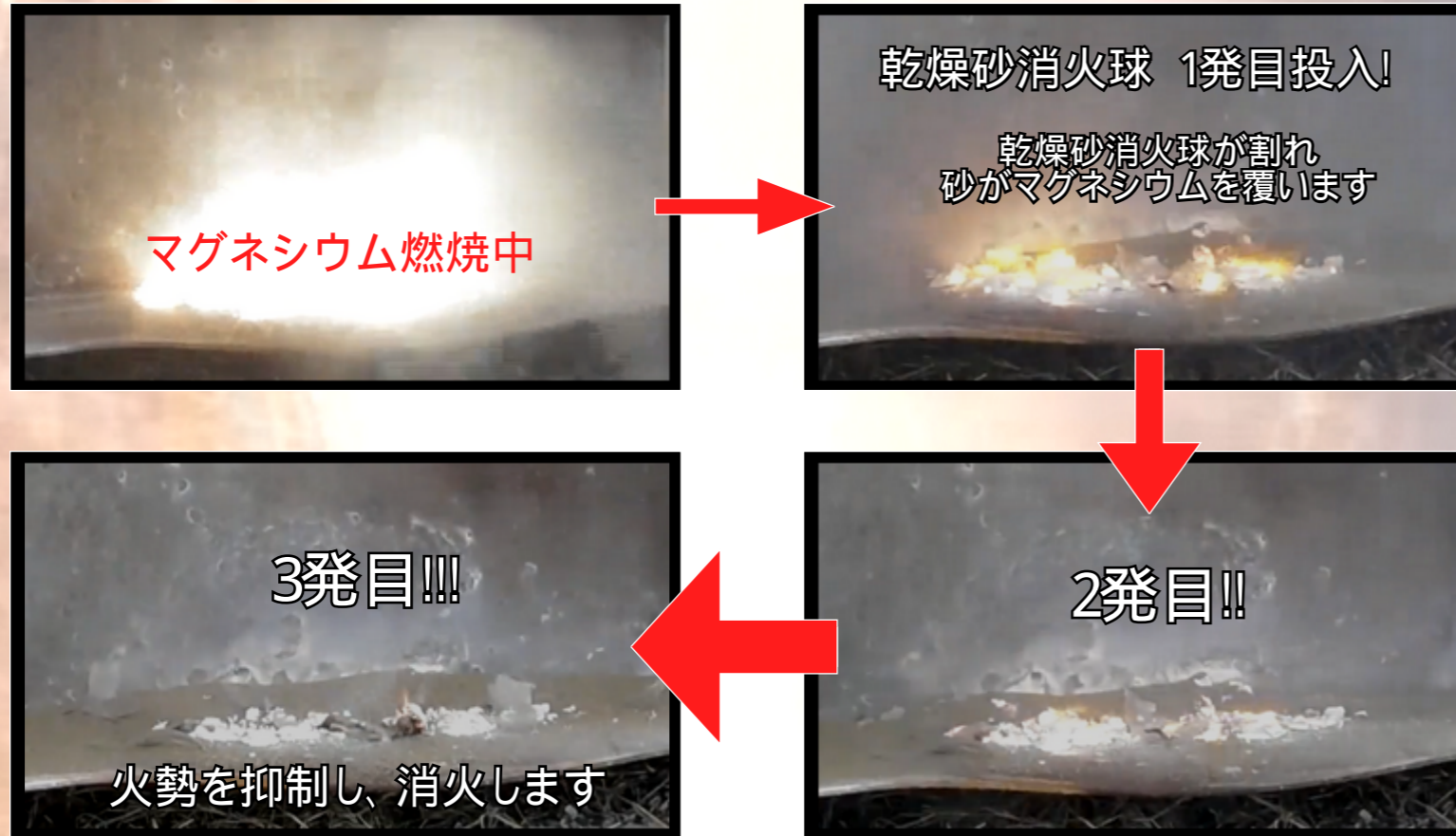


禁水性物質の火災、金属火災の消火に 効果を発揮



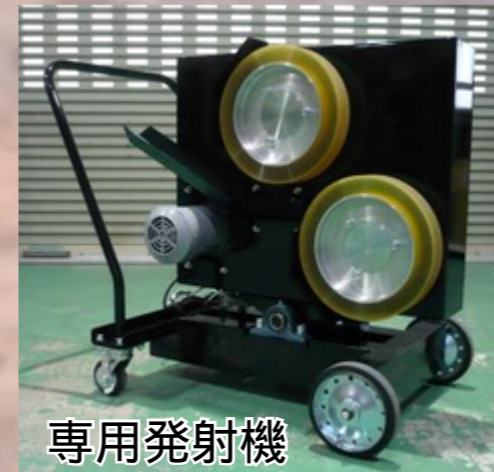
密閉容器内に砂が保存されているので
乾燥状態で長期保存が可能です。

乾燥砂消火球は、砂が球状のプラスチック容器内に保存されているため、長期間乾燥状態を保ちます。
消防法で定め法定備品として備え付け可能です。(スコップとバケツも備え付ける必要があります。)



砂が球状のカプセルに入っているため、**遠くから砂を投入可能です。**
専用発射機で連射も可能です。

球状のカプセルに砂が入っていますので、火源から離れた場所から乾燥砂を投げ入れることができます。
また専用の発射機により、10～30m離れた目標に向け、連続的に乾燥砂消火砂を発射することもできます。



専用発射機



価格 6,600円(税込) (10個入り1箱)
※50箱以上のご購入で定価の3割引き

乾燥砂消火球

特許第6811166号



乾燥砂消火球



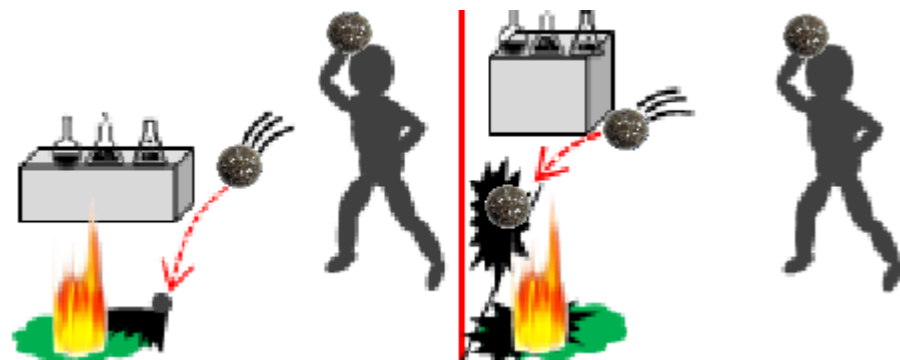
専用発射機

開発・製作・総販売元

(一財)海上災害防止センター

乾燥砂消火球の使用例

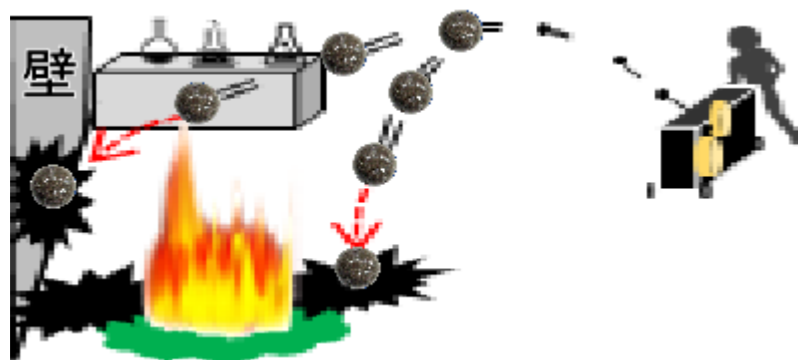
例



火元の手前に乾燥砂消火球を手で投げ、消火球が割れて飛び散る乾燥砂が、火元を手前から覆うようにする。

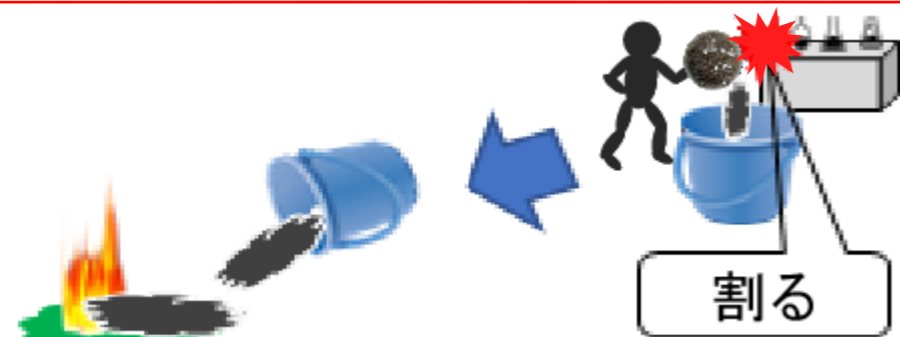
火元の奥の壁に乾燥砂消火球を手で投げ、消火球が割れて飛び散る乾燥砂が、火元を上から覆うようにする。

例



火元から離れた場所から、専用の発射機を使用し火元の手前または奥の壁に向けて乾燥砂消火球を発射し、落下後に消火球が割れて飛び散る乾燥砂が火元を覆うようにする。

例



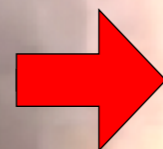
乾燥砂消火球を机の角等に当てて、卵を割る要領でひびを入れ、割れやすくなった消火球を火元に落とし、火元を砂で覆う。

また、消火球を割って乾燥砂をバケツ等の容器に入れ、火元にかける。

注意！ 燃焼中のマグネシウムに水をかけると……



マグネシウム
燃焼中



放水

水が水素と酸素に分解し
激しく燃焼

燃焼中のマグネシウムに水を散布すると、水が水素と酸素に分解して激しく燃焼します。禁水性物質やマグネシウム等の金属火災に対しては、**消火に水を使用できません。**



一般財団法人海上災害防止センター 調査研究室

TEL 045-224-4322

FAX 045-224-4312

research@mdpc.or.jp

〒220-0012

神奈川県横浜市みなとみらい4-4-5
横浜アイマークプレイス 6階

海上災害防止センター
物品販売ウェブサイト
<http://www.mdpc.or.jp/item/>

参考動画QRコード

